

学校だより

三隅中学校

③

ふるさととの交流を求めて

本校では、教育目標の一つである「活動を通して生徒が高まる学校づくり」を達成するために「奉仕的な活動に積極的に取り組み、地域の一員としての自覚を高め、地域の人々との交流を通して福祉の心、地域を愛する心を育てる」というサブテーマを掲げ、特色ある学校づくりを推進しております。その一端を紹介いたします。

毎年、夏休みにはボランティアクラブ部員が明和苑で一泊二日のワークキャンプを行っています。お年寄りの皆さんのお世話をする中で、思いやりやいたわりの心が培われます。また、第二土曜日には三隅駅の清掃美化、自転車置き場の整頓なども行っています。

ブラスバンド部員は十月に清風園と明和苑への慰問演奏を行います。美しいメロディと手拍子が一体となりすばら



しい感動を生み出します。体育大会では、総務委員（生徒会の役員）を中心にしたメンバーがお年寄りを招待し、自分達の精一杯の演技を披露します。お年寄りは我が孫のように声援を送られ、生徒達もそれにエネルギーが湧き、若さで応えています。

郷土史研究クラブは、三隅

を詳しく知るために町内を歩き、ふるさとのすばらしさを再発見してくれます。文化祭等の発表では、三隅のよさを理解するのに大いに役立ちます。

その他にも、地域のために役立つ活動を実践しています。生徒達の真剣な表情や目の輝きはこれからの三隅にとって大きな財産になると確信しています。

今後とも、三隅中の伝統を守り、地道な活動を通して「心を育てる」教育活動を推しすすめて行きたいと考えています。

町民文芸

俳句

清風句会

(九月) (五十音順)

- 竿の先夕日にもえしやんまの 上田 雪子
- 露草に一人歩いて胸いやす 沖村美智子
- 露草や岸の向うに灯一つ 齊藤 元
- ハンカチに染めし露草懐かし 仁保氏子
- 露草をしとどに踏んで亡父帰る 松田 妙子
- あぜを行く足にまつわる露草よ 松永 保代
- 屋上にトンボと遊ぶ予后の人 藤沢 忘帰
- 切れ味を試し切りする露の草 山城てるこ
- 古寺の庭の露草岩を抱き 山野タケ子
- 露草や牛の好物食ひ足らず 和田 英二
- 鍬の柄にしばしの憩い赤とんぼ 佳漬美 み

短歌

三隅短歌会

(順不同)

- 魚市場入札のかねりんくんと港にひびき今日も大漁 松野美津子
- 堅き舗道歩むがごとき砂利道につくづく思ほゆ雨の長きを 河野真理子
- 早朝の赤きボストの受け口に葉書まつのか青蛙いる 村田 敦子
- 朝毎に可憐に咲きし朝顔の地に打ち伏して台風一過 堀 光太郎
- 行商のキャベツ手にとり値を聞けばあまりに高し又もどしおく 中村タミ子
- さんさんと照らす太陽久し振りせんたく干す手思わずはずむ 河村 民子
- 寄り添うて笑まう娘の胸内に親の入り込む隙間あらむか 吉村 恵子
- 左眼には若早や見えざり芙蓉花の暁のしるたへ夕のくれなゐ 伊藤 一郎

